★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆

みらい通信

管理運営委員会便 11 月号
2023 年 11 月 11 日発行

ワシントン日本語学校
管理運営委員会　広報部
koho@wjls.org

★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆

早いもので今年も残すところあと 2 か月。急に冷え込む日が多くなり、庭掃除に追われる季節となりました。漢字検定も終わり、ほっとしたご家庭も多かったのではないでしょうか？ホリデーシーズンが始まるとあっという間に年末ですが、今年の残り少ない時間でたくさんの楽しい思い出を作れるとよいですね。今月号のみらい通信では、補習校経験者によるパネルディスカッションや青い封筒募金キャンペーンのお知らせなどを掲載しています。また、先月開催された金城太一参事官の講演会についても取り上げています。ぜひ最後までご覧ください。

＜目次＞創作作品募集中 / 2024 年度新運営委員募集 / 青い封筒募金 / パネルディスカッション告知 / 漢字を学ぶイベント / 金城参事官講演会報告 / 世界に羽ばたく同窓生の今 / 委員長からの報告

【締切延長！】創立 65 周年記念事業「未来を創れ！」作品集にご応募ください

創立 65 周年記念事業「未来を創れ！」の一環として、生徒の皆さんの作品を募集しています。締め切りを12月31日までに延長いたしました。お子様の豊かな感性を発表する機会として、本創作活動への参加を是非ご支援ください。

作品イメージ
※応募作品は
許可を頂いて掲載しています

☆1人レターサイズ1枚までなら、何作品をまとめて応募しても可能です。
（応募はお1人1枚です）
絵と詩、習字と俳句短歌等、是非組み合わせての参加もお待ちしています！

【応募資格】　幼稚部から高等部までの本校在校生徒
【応募期間】　9 月 9 日（土）～12 月 31 日（日）
（締め切りを延長しました）

☆応募方法等、詳細については本校 HP 創作活動特設サイトをご覧ください。
お問い合わせは６５周年記念事業実行小委員会まで。

2024 年度管理運営委員を募集しています！ 募集中！

管理運営委員会では、来年 3 月から 4 月にかけて複数の委員が退任するため、2024 年度より新たに運営委員を務めてくださる方を募集しています。募集は、学年代表を含む全部署が対象です。特に米国の法律に詳しい方、IT（情報技術）に詳しい方の応募をお待ちしています。

今年度は平常の業務に加えて、創立 65 周年記念事業実行小委員会を含め 4 つの小委員会を立ち上げ、各委員が意欲的に活動しています。様々な分野での高い専門性を持った委員が各案件に真摯に向き合い、議論を交わしています。本校の強みである多様性を感じたり、新しい出会いや学びがあったり、貴重な体験ができることは間違いありません。各部署の業務内容については、本校ウェブサイトをご参照ください。さらなる魅力ある学校作りのために、一緒に頑張りましょう。少しでも関心のある方やご質問のある方は uneiiinkai@wjls.org までお気軽にご連絡ください。

青い封筒募金キャンペーンが始まります！（財務部）

本年も 12 月 1 日から 31 日を期間として、青い封筒募金キャンペーンを実施いたします。できるだけ多くの保護者の皆様からの参加をお待ちしております。キャンペーン終了後には、参加者を対象にラッフルも企画しております。ラッフルの景品についてのご提案がありましたら、管理運営委員会までお寄せください。

青い封筒募金キャンペーンとは?

毎年、サンクスギビング休暇前後から年末にかけて、日本語学校の保護者と関係者の方を対象に寄付を募るキャンペーンです。コロナ禍以前は青い封筒を保護者の皆様にお配りし、登下校時にお渡しいただいていたことから、「青い封筒募金キャンペーン」と名付けられています。皆様からいただいた寄付金は、全額がその年度の一般収入として計上され、日本語学校の様々な支出をカバーするために使われます。2022 年度のキャンペーンでは、97 名の保護者・日本語学校関係者より、総額＄10,386 の寄付をいただきました。寄付をしていただいた皆様に心より感謝の意を申し上げます。

なぜ授業料に加えて寄付を募る必要があるのか?

本校の収入は主に入学金・授業料、日本政府からの補助金、保護者の皆様及び支援してくださる企業・団体様からの寄付金です。寄付金を増やすことにより、授業料の上昇を抑えることができます。また、多くの保護者が参加することで地域の日本人コミュニティ内での支持も高まり、支援者や関係者の方々からのますますのご貢献及び寄付金の増加につながります。他にも、本校が IRS 501(c) 上の免税非営利団体であることから寄付金が免税対象になるなど税制面の優遇措置が受けられます。本校の財務状況については、2023 年 4 月の特別総会及び 10 月の年次総会で発表した資料で詳しく説明していますので、本校ウェブサイトの保護者ページをぜひご参照ください。

寄付の方法は?

寄付の方法はオンライン（PayPal・Venmo）小切手、又はプレッジ方式（保護者より WJLS ホームページから専用フォーム経由で寄付額を記入し、その後期日（1 月初旬頃）に WJLS に登録している自動引き落とし口座から寄付金額を引き落とし）とさせていただきます。詳細は 11 月中に一斉メールでご連絡しますので、そちらをご覧ください。

昨年度のラッフル景品と抽選方法　今年度の景品は来月のみらい通信で発表しますので、ご期待ください！

景品	抽選方法
• ポトマック川でのランチクルーズ (1 家族分を 1 枚) • 寿司 TARO のおせちギフト券(1枚) • 寿司 TARO の飲食ギフト券 (100 ドルを2枚)	20 ドルを1チケットとし、寄付金額に応じてチケットを割当て(例:100ドル寄付した方はチケット 5 枚)
• 鈴木ファームお野菜セット（2枚） • WJLSロゴTシャツ（10枚） • 図書古本5冊（8枚） • WJLSロゴマグカップ（3枚） • 日本語学校トートバッグ（5枚） • 日本語学校ハートのカーマグネット（10枚 ）	寄付金額にかかわらず一人につきチケット1枚

当日参加者には、その場で当たるプレゼントもご用意しています！

お名前ペン、日本製の定規、ポチ袋、絵葉書セット etc.

【創立 65 周年記念】補習校経験者によるパネルディスカッションのお知らせ

全米の日本語補習校の同窓生が今後どのような経路を辿り、未来のグローバル人材として世界で活躍するかご興味はありませんか？創立 65 周年記念事業実行小委員会では、米国の補習授業校に在籍した同窓生や保護者であり、日米経済を牽引するお三方を招いて熱く語り合うパネルディスカッションを開催いたします。この貴重な機会に、吉村亮太さん（ワシントン日本商工会会長）、井口徹夫さん（ワシントン日本商工会財団理事長）、小林知代さん（ワシントン日本商工会財団理事）の登壇が予定されております。

当日は、補習校での経験から未来を担う学生に期待することまで、幅広い話題について語り合う予定ですが、そのほかにもお聞きしてみたい質問があれば､事前アンケート https://forms.gle/me1CSxKg6Jxfjgmr5 からお知らせください。子供たちが未来への一歩を踏み出すための情報とインスピレーションが満載のイベントとなることでしょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは広報部（koho@wjls.org）までお寄せください。

日時：12 月 9 日（土）午後 1 時～午後 2 時 30 分頃
場所：聖心 SR 校 4 階図書室
テーマ：時代を拓くグローバル人材とは？～日本語補習校出身者の歩みを振り返り、未来を志向する～

井口　徹夫さん
東芝アメリカ社ワシントン事務所長
ワシントン日本商工会財団理事長
小 1～小 3 に NY の補習校に在籍

小林　知代さん
Washington CORE, L.L.C.
ワシントン日本商工会財団理事
本校元保護者･元運営委員

吉村　亮太さん
米州住友商事会社ワシントン事務所長
ワシントン日本商工会会長
本校同窓生（小 4～中 2 に在籍）

漢字学習に関するイベント開催（教育人事部）

教育人事部は 12 月 16 日（土）放課後、小学 1・2 年生の児童・保護者を対象に、「親子で続ける漢字学習へのヒント（アメリカで漢字を学ぶ子供たちへ）」と題するイベントを開催します。講師に本校保護者でジョージ・ワシントン大学日本語教育准教授の辻岡孝枝さんと、日本に派遣される米国政府職員に日本語を教えていらっしゃるマッキソック美穂さんをお招きします。

なぜ 3・4 年生で国語（特に漢字）が難しくなるのかを解説し、1・2 年生からの漢字学習のコツと様々なツールを紹介していただきます。アメリカで育つ子供たちに合った漢字学習を、親子で楽しく続けていくための情報共有の場を設けられればと思います。

事前登録制で、定員 12 組です。登録フォームは、こちらをご覧ください。お問い合わせは教育人事部（kj@wjls.org）まで。

【65 周年記念事業】金城太一参事官講演会が開催されました

金城太一参事官

10月28日、ワシントン日本語学校に在アメリカ日本国大使館の金城太一参事官（教育担当）をお招きし、「大使館における教育分野の取組と在外教育施設に期待すること」と題して講演会が開催されました。本講演は創立65周年記念事業の一環として行われたものです。金城参事官は文部科学省のご出身で、学習指導要領の改訂をはじめ教育現場での様々な政策や課題に従事してこられました。当日は会場の4階図書室に多くの保護者が集まり、盛況な会となりました。

講演会では、大使館での教育分野の主な取り組みとして支援しているJETプログラム(The Japan Exchange and Teaching Program)と、国費留学生について詳しくご紹介いただきました。JETプログラムは国際交流や外国語教育に携わる海外の人材を日本に招致する事業で、金城参事官によると、本校の在校生にも将来ぜひ参加してもらいたいとのことです。日本留学やJETプログラム参加者、親日家・知日派と協力し将来の日本留学などの裾野を広げるべく、現地校での日本語教育の支援や日本語教師会との連携を図るなど、日米相互の交流活動を活発化させるための推進事業についてもお話ししてくださいました。

補習校での学びを次のステップにつなげてほしいと語る金城参事官

本校保護者の関心の高い話題といえば、やはり日本語を学んだ先のビジョンについて。金城参事官は、日本政府の方針のほか、日本の大学で学ぶメリットや日本企業の雇用状況など、詳細な資料を交えて説明してくださいました。在外教育施設の重要性及び補習校へ期待することとして挙げられたのは、補習校ならではの教育実践と日本文化の発信拠点としての役割です。また、その実現のためには大使館も協力を惜しまないと心強いお言葉をいただきました。金城参事官は、子供たちは「日米の懸け橋となる高度グローバル人材の原石」であり、補習校の学びの中で日本語を習得するだけではなく、日本文化・社会性・協調性などを総合的に学ぶことが将来のプラスになると強調。現地校との両立は容易ではないが、学習指導要領に定められている「学びに向かう力・人間性の育成」にもつながること、不透明な時代を生きるうえでの大事なスキルを学んでいることなど、子供たちの後方支援を続ける保護者を労いつつ励ますメッセージもくださいました。講演会で使用されたプレゼンテーション資料は、本校ウェブサイト保護者ページ＞ 家庭学習を応援（要パスワード） ＞ 保護者向け講演会資料一覧 にアップロードされていますので、ぜひご覧ください。

質疑応答時には、日本語補習校の課題や大学進学についての質問・要望が多数ありました。「日本に留学した学生のネットワークを充実してもらいたい」「日本の大学の STEM 分野で海外留学生や帰国子女生をもっと受け入れてもらいたい」といった要望も出ていました。講演会後、管理運営委員会に届いた感想の一部をご紹介します。

日本の教育システムの中での補習校の位置付けなど、興味深いお話でした。（中 2、小 4、小 1 保護者）

日米間の留学プログラムについて知ることが出来ました。（小 2 保護者）

国際感覚を身に付けるというのは単に語学力だけの問題ではなく、文化、習慣、価値観などの理解が大きく関わってくるので、長い時間をかけてそういう日本の習慣や感覚を積み重ねていける補習校での体験は子供たちにとって今後の財産だと感じました。（中 1 保護者）

国際交流に向けて、日本から海外への留学・派遣だけでなく、海外から日本への留学・派遣等にも政府として力を入れている、今後も強化されることを知り、安堵の気持ちと日本の将来への期待が持てました。（高 1 保護者）

創立 65 周年記念特別企画「未来を創れ！」世界に羽ばたく同窓生の今

甲良（こうら）　直美（なおみ）さん

在籍した時期：小学部 1 年～中学部 3 年（1996 年 4 月～2005 年 3 月）
アメリカ生まれ。高校までを MD で過ごし大学入学を機に日本在住。
学習院女子大学卒、現在、日本航空㈱勤務。

Q. 日本語学校はどんな存在でしたか？楽しかった思い出は？

日本語学校は私にとって、自分らしさを表現しやすい場所でした。バイリンガルですが、家の中は日本語が中心だったので、外に出ればアメリカ、家の中が日本という不思議な感覚でした。当時は今ほど日本文化がアメリカに浸透していなかったので、日本語学校は大好きなアニメ・漫画・ゲームを友達と気軽に語れる貴重な場所でした。毎年楽しみにしていた運動会のパンフレットの表紙に自分の絵が選ばれた時は大変嬉しかったです。

毎年楽しみにしていた
運動会にて（小２）

Q. 日本語学校での経験が役立っていると思うことは?

日常会話の読み書きだけでなく、日本へ戻っても学校の授業についていけるように、算数、国語、社会、歴史等の勉強が含まれていたことです。日本の義務教育を学べたので、趣味の漫画やドラマも理解しながら楽しめただけでなく、アメリカから日本へ生活が変わった時のカルチャーギャップが受け入れやすかったです。

Q. どのタイミングで生活の軸を日本にしようと思いましたか？

日本人なのに日本のことを知っているようで知らなく、アメリカの大学で特別学びたいこともなかったので、日本で生活してみたいと思い、日本の大学を受験しました。卒業後はそのまま日本の企業に就職したので、自然と拠点になりました。

Q. 在学中に親が担った役割や感謝していることは？

毎日の送り迎えや朝早くからの私と弟二人分のお弁当作り、宿題のヘルプです。中でも一番感謝していることは、アニメ・ゲーム・漫画を禁止しなかったことです。親のサポートのおかげで現地校と週末の日本語学校の両立ができました。また、好きな物を禁止されなかったため、日本語をもっと学ぼうという気持ちになれました。

日本語と英語を使いこなし、
世界各国の部品販売会社と取引中

Q. 進学や将来の方向性を決める際日本や日本語が影響を及ぼしましたか？

母が昔客室乗務員だったことや毎年夏休み、たまに冬や春も日本へ行っていたので飛行機は身近で当たり前のものでした。アメリカだと Aviation（航空業界）はあまり人気キャリアではなかったので諦めていましたが、日本では人気の職種の一つであったので、運よく縁があって就職しました。今は楽しく仕事ができ、やりがいを感じています。数年前まで空港勤務でしたが、現在 JAL 本社の調達本部整備調達部で飛行機の部品を世界各国の販売業者から購入する仕事をしています。

Q. 在校生へのメッセージ

私はアメリカで生まれたのにアメリカ人になりきれない、日本人なのに日本人になりきれない。中途半端で選べない自分が大変コンプレックスでした。ですが、自分のカルチャーを知ることで、どちらかではなく、両方選んでも良いんだと思えるようになり、大変楽になりました。今では両方の文化を知っていることが私の財産です。

在校生の中には私と同じアメリカ生まれで、同じ理由で悩んでいる人がいるかもしれませんが、そのコンプレックスは強みなので、自信を持ってください！ それから、ワシントンに住んでいる皆さんは ANA の方が馴染み深いと思いますが、JAL も ANA 同様、世界各国のトップを争う航空会社です。機会がありましたら、是非 JAL もご利用ください！

米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。

帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 （日本語ダイヤル）
URL: http://www.nittsu.com/hikkoshi

NIPPON EXPRESS

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

委員長からの報告

夏時間が終わり、晩秋の深まりを感じる季節となりました。ハロウィーンに始まって、年末年始まで年中行事が続き、ご家族でいろいろと計画をされていることと思います。健康で安全に楽しく過ごせますように！

さて、11 月 4 日定例管理運営委員会では、校長先生の校務報告に続き、コロナによる休校以来休止していた「放課後教室」の再開が承認されました。これにより、生徒の皆さんの放課後課外活動の選択肢が広がり、本校がさらに魅力のある学校になればと願っています。

次に、来年度に開設を目指している「パートナーシップ部」の初年度の動きと体制についての相談がありました。今後、業務内容や人員、学校組織の中での位置づけなどを慎重に協議し、決定していきます。保護者の皆様には、「保護者役割希望調査（2 月実施予定）」までにはお知らせする予定です。

また、例年実施している「青い封筒募金キャンペーン」「全校アンケート」「新入学説明会」の実施計画についての報告がありました。そして、今年度新規の企画「WJLS 見学ツアー」「マスゼミ放課後中学数学講座」についても、十分な応募数を得て、実施の予定であるとの状況報告がありました。今後も運営委員会では様々なイベント（生徒向け、保護者向け）を実施していく予定です。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。

寄付にご協力ください！

Donate

ワシントン日本語学校では随時オンラインで寄付を募っております。ご協力いただける方は、本校ウェブサイトの「寄付概要」ページ にある左の画像をクリックしてください。

委員長：　辻川扶紀
副委員長：　小寺友美
総務部：　松林拓磨（部長）・大杉真名美・竹村聡子・鶴見圭祐・松田真実
財務部：　グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
教育人事部：　大島由美子（部長）・片田順子・栗原美恵・塩崎桃子・福嶋加代子
広報部：　河野真弓（部長）・竹内由美
学年代表：　大島千枝（低学年代表）・向山こずえ（中学年代表）・島未知子（高学年代表）